

平成 24 年度 支援センターみらい  
事業報告

**【概 況】**

1. 就労移行支援事業所ふつーるは、初めて利用期限の 2 年目を迎え、慌ただしい 1 年となりました。この 2 年間で 7 名の方が一般就労されました。就労に至らなかった方のうち 4 名が延長申請を行い、4 名が他事業所へ入所される予定です。今年度の利用者状況は、在籍者 14 名、入所者 6 名、退所者 4 名で、退所者 4 名は一般就労によるものです。

2. 栗ヶ丘ホームでは職員体制の整備を行うとともに、センターと各ホームの情報共有に努め、利用者支援の充実を図りました。また、平成 25 年 4 月の新ホーム（旭丘ホーム）開設に向け、UR 住宅と賃貸契約を締結し、法人内の利用者・ご家族を対象にケアホームに対するニーズ調査を行いました。31 名の方が将来的な利用も含め、ホーム利用に対して、関心を持たれています。

3. 相談支援事業所みらいでは、4 月から相談支援専門員を配置し、同じく 4 月に指定特定相談支援（計画相談）、指定障害児相談支援、平成 25 年 3 月に指定一般相談支援事業（地域移行、地域定着）の認可を受け事業運営を行いました。計画相談の契約は 11 件でした。従来から行っている豊中市生活アシスタント事業（相談）や計画相談に伴う相談の件数は 997 件で、前年度と比べ約 2.7 倍に増加しました。その要因として、ご本人や他事業所からの相談件数が増加したことがあげられます。また、様々な会議への出席や広報活動等により、事業所の認知度が高まったことも要因の一つと思われます。

4. ヘルパーステーションあしすとでは、稼働数の増加、ヘルパー確保に努めました。豊中駅構内（なかま）、蛍池駅前ビル、石橋駅前（オアシス）等にヘルパー募集の掲示をするとともに、ヘルパー養成講座を実施している事業所にもチラシを配布した結果、今年度は 11 名のヘルパーと契約を締結することができました。稼働数については、法人内事業所の利用者を中心に利用量が増加し、移動支援は前年度と比べ約 1.9 倍、居宅介護は約 1.7 倍となりました。増加した要因としては、各事業所と連携し、個別支援計画面談等において抽出されたニーズと繋げることで、活用のメリットや効果について理解が高まったことがあげられます。また、相談支援において抽出されたニーズも支援に繋げることができ、利用量の増加に繋がりました。居宅介護については、ケアホーム利用者に対する休日の日中支援として利用されることが多く、また、ケアホーム利用者の高齢化に伴い、増加傾向にあることが要因としてあげられます。しかし、依然としてヘルパーが不足おり（特に男性）、次年度以降の課題となっています。

以上が概況ですが、各項目の詳細については後述のとおりです。

## 就労移行支援事業ふつーる

### 1. 利用者状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）

#### (1) 在籍状況

- 男性 9名 女性 5名 合計 14名  
 ・入所 6名（在宅 4名、他事業所 2名）  
 ・退所 4名（一般就労 4名）

#### (2) 出席状況(各月初値)

155/240 年間在籍者数 65%（人） 出席率 91%

平均年齢 32 歳 2 ヶ月(22 歳から 43 歳)

	4 月	5 月～9 月	10 月	11 月～1 月	2 月～3 月	計
男性	8	8	9	8	9	99
女性	4	5	5	4	5	56
合計	12	13	14	12	14	155

#### (3) 障害程度区分

##### ①療育手帳

A	5
B 1	7
B 2	2

##### ②障害程度区分

区分	人数
1	0
2	3
3	7
4～6	0
なし	4
計	14

### 2. 日課・週間プログラム

#### 【日課】

午 前		午 後	
9:00～9:20	登所・更衣	12:00～13:00	昼食・休憩 (喫茶は 11:30 から交代制)
9:20～9:30	朝礼	13:00～16:00	活動 (適宜休憩)
		16:00～16:20	更衣
9:30～12:00	活動 (適宜休憩)	16:20～16:30	終礼・降所

【週間プログラム】

	月	火	水	木	金
午 前	喫茶 みらい清掃	喫茶 みらい清掃 川瀬彦	喫茶 みらい清掃	喫茶 みらい清掃 ラスティング	喫茶 みらい清掃
午 前	喫茶 みらい清掃	喫茶 みらい清掃 川瀬彦	喫茶 みらい清掃	喫茶 みらい清掃 ラスティング	喫茶 みらい清掃

○豊島高校清掃…月 4 回（不定期）

3. 職員体制等

常勤職員：管理者(1) サービス管理責任者(1) 就労支援員(1) 職業指導員(1)  
非常勤職員：職業指導員 (1) 生活支援員 (1) 事務員 (1)

4. 建物・設備維持管理

- ・消防設備点検…5/21、12/19
- ・害虫駆除作業…4/20、12/18
- ・館内清掃作業…12/17

5. 車両管理・送迎管理

【車両管理等】

	キャラバン	ムーヴ
車 検	平成 24 年 8 月実施	次回平成 26 年 1 月

【修繕等】

8 月 ムーヴ：リモコンキー交換

【車両事故】

なし

【送迎管理】

特別送迎

ショートステイ（あすなろ、ひまわり）や歯科通院などへの特別送迎を実施。

利用者 23 人 年間利用回数 93 回

## 6. 年行事等

日にち	行事名	行先・場所	参加人数	特記事項
5/19	余暇活動	妙見山 クッキングセンター	12	バーベキュー
8/18	余暇活動	ビッグエコー 梅田 DD ハウス店	9	カラオケ
10/5	スポーツフェスタ	豊島体育館	13	
11/15	宿泊訓練	香川、岡山	10	
12/15	余暇活動	ラウンドワン豊中店	8	ボウリング
2/16	余暇活動	六甲山人工スキー場	10	雪遊び

## 7. 健康管理

- ・健康診断：6/18 に山口記念診療所にて実施（11名）
- ・予防接種：11/5、16 に山口記念診療所にて実施（利用者10名）
- ・厨房業務は月1回の検便実施

## 8. 防災

回	日にち	内容	参加人数
1	11/30	避難訓練（地震）	12
2	3/22	避難訓練（火災）	12

## 9. 活動支援の取組み

初めて利用期限の2年目を迎え、特に期限を迎える利用者には積極的に就労支援を行った。

### ① 就職（4名）

8月…有限会社アヴァック（食品仕分け業務）※2ヶ月後退職

9月…スシロー豊中店（食器洗浄、調理補助）

10月…グットタイムリビング（老人ホーム清掃、洗濯業務）

2月…関西電力株式会社 本社食堂（調理器具洗浄）

### ② 雇用前実習

・有限会社アヴァック…7/24～8/1

・グットタイムリビング…8/27～9/14

・スシロー豊中店…8/29～9/9

・関西電力株式会社 本社食堂…12/17～12/28

- ・大戸屋江坂東急ビル店（食器洗浄）…1/28～2/1、3/4～3/8
- ・阪急阪神ホテルズ（事務補助）…2/14～2/28
- ・タナカ物流（商品梱包）…3/25

③ 職場体験

- ・原田老人福祉センター（H23/11/10～H24/6/26）
- ・原田老人福祉センター（H24/10/9～H25/3/30）
- ・くらしかん喫茶（H24/1/6～H25/3/29）

④ その他

- ・喫茶（接客、製菓、出張販売）
- ・企業実習（川瀬彦、ラスティング）
- ・清掃実習（みらい、豊島高校）
- ・施設外実習（豊島高校）

※平成24年度売上総額 2,252 千円

内訳：喫茶業務 58%、清掃業務 28%（みらい 11%、豊島高校 17%）

企業内実習 10%（川瀬彦 4%、ラスティング 6%）、その他 5%

10. 広報・実習

【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、年2回発行した。

	号	発行日	部数
1	第3号	5/1	450部
2	第4号	3/21	450部

【利用体験実習】

- ・豊中支援学校2年生 1名（女子）…1/21～23
- ・池田北高校2年生 1名（女子）…3/13～15

【支援者実習】

受け入れなし

## 11. 苦情対応

- ・施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を1名配置。苦情は、意見箱をはじめ面談の場や連絡帳でも受け付けている。

また、苦情事案については第三者委員に報告し、指導助言を受けている。

## 12. 職員研修・会議等

### 【職員研修】

- ・事業計画に基づき、特定の職員に偏らず、また人権関連から専門的研修まで幅広い分野を対象に、研修実施に努めた。

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
4/25	中小企業経営 支援セミナー	(株)きると	障害者雇用につ いて	豊中商工会議所	辻
6/27	感染症・食中毒 予防対策講習会	大阪社会福祉 協議会		吹田市文化会館	福井
7/31	権問題に関する研修会	大阪社会福祉 協議会	障害者と人権	大阪社会福祉指導セ ンター	山内
8/8 9/3	虐待防止・権利擁護研修	大阪府		ビッグアイ 堺市市民会館	小松 入佐
9/6	障害者虐待防止法施行 に向けての研修会	豊中市		福社会館	中島
9/27	就労支援セミナー	大阪労働局		中央大通 FNビル	辻
10/18 10/31	福祉職員研修（新任）	大阪社会福祉 協議会		大阪府社会福社会館	浅野
11/7	障がい福祉フェスタ	茨木市自立支 援協議会		茨木市クリエイトセ ンター	小松
1/18 2/14 2/15	サービス管理責任者研 修（地域（知的・精神））	大阪府社会福 祉事業団		ビッグアイ 大阪府社会福社会館	中島
1/18 2/5 2/6	サービス管理責任者研 修（就労分野 B コース）	大阪府社会福 祉事業団		ビッグアイ 大阪府社会福社会館	辻
2/22 2/26 3/4	対人援助技術研修	大阪社会福祉 協議会		大阪府社会福社会館	浅野 谷口

2/19	発達障害の視点と感性	豊中市就労雇用支援センター		ホテルアイボリー	中島
2/14 2/28	発達障害者支援者養成 研修	豊中市社会福祉協議会	1. 障害者の職業相談 2. 豊中の就労支援	福祉会館	谷口

※その他、法人内研修に年2回参加

### 【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
センター会議	12	毎月第1水曜日（センター長、職員）
ふつーる会議	12	毎月第3水曜日（センター長、職員）

※その他 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）  
サービス向上委員会(主任、他)

### 13. その他

- ・緊急雇用創出基金事業の地域人材育成事業を受託  
2名の職員を雇用し（今年度限りの雇用契約）、資格取得（ホームヘルパー・ガイドヘルパー）や、ふつーる、みらい・第2みらいでの現場実習などを行い、人材育成を行った。内、1名は平成25年度よりケアホームの非常勤職員として再雇用予定。

## 栗ヶ丘ホーム（共同生活介護・共同生活援助）

### 1. 利用者状況（平成25年3月31日現在）

#### （1）在籍状況

栗ヶ丘ホーム：男性3名、女性1名  
末広ホーム：男性5名  
若竹ホーム：女性4名  
桜塚ホームⅠ：男性3名  
桜塚ホームⅡ：男性3名  
桜塚ホームⅢ：男性2名

#### （2）利用状況

栗ヶ丘ホーム：1206/1420（営業日×4名）	利用率85%
末広ホーム：986/1240（営業日×5名）	利用率80%
若竹ホーム：1018/1436（営業日×4名）	利用率71%
桜塚ホームⅠ：630/681（営業日×3名）	利用率93%
桜塚ホームⅡ：668/681（営業日×3名）	利用率98%
桜塚ホームⅢ：477/512（営業日×2名）	利用率93%

### 2. 職員体制等

管理者1名（兼務）、サービス管理責任者1名（専任）、事務員1名（兼務）

栗ヶ丘ホーム：生活支援員1名、世話人1名、土日の生活支援員2名

末広ホーム：生活支援員1名、世話人1名

生活支援員1名（17：00～21：00）

生活支援員1名（7：15～9：00）

若竹ホーム：生活支援員1名、世話人1名、土日の生活支援員1名

桜塚ホームⅠ・Ⅱ：生活支援員2名、世話人1名

桜塚ホームⅢ：生活支援員1名（月16：30～20：30）

生活支援員1名（火、水、木16：30～20：30）

生活支援員1名（金16：30～20：30）

生活支援員1名（月・木・金20：30～9：30）

生活支援員1名（火・水20：30～9：30）

世話人1名

計 生活支援員15名・世話人5名



### 3. 建物・設備維持管理

- 栗ヶ丘ホーム：・庭の植木剪定  
・2F トイレ…ウォシュレット設置
- 末広ホーム：・アンテナ工事  
・庭の植木剪定
- 若竹ホーム：・防音工事（襖で仕切られていた部屋の襖部分）
- 桜塚ホーム1：・なし
- 桜塚ホーム2：・テレビ設置（リビング）
- 桜塚ホーム3：・結露対策マット設置
- 全ホーム：・消防設備点検（年2回）

### 4. 送迎管理

土曜日の午前中を基本とし、支援センターのキャラバン（10人乗り）を使用して、ホームから自宅等への特別送迎を実施。

運転業務（1名）と添乗業務（1名）をシルバー人材センターに業務委託。

栗ヶ丘・末広ホーム：第2・第4土曜日

桜塚Ⅰ・Ⅱ・桜塚ホームⅢ：第1・第3土曜日

### 5. 年行事等

ホーム合同余暇支援を1回実施。

3/20（祝）ボウリング大会と大道芸、演劇鑑賞 利用者25名参加。

その他、各ホームにおいて調理実習や外出等の余暇支援、誕生日会を実施。

### 6. 健康管理・給食

#### 【健康管理】

毎朝の検温、各利用者の服薬管理はもとより、排便、排尿の確認など、常に利用者の健康管理に配慮した。また、利用者が体調を崩した際は、ホーム、センター、日中事業所、ご家族等と連絡をとり、早急に対応するよう努めた。

#### 【給食】

夕食・朝食とも世話人が、基本的には当日購入した食材をその日のうちに調理し提供するように努めた。また毎月1ヶ月分の献立を作成し、栄養バランスを考えた食事の提供に努めた。

## 7. 防災

各ホームとも年に2～3回、地震や火災を想定し、避難訓練を実施した。

## 8. 活動支援の取組み

各ホームで独自に工夫して取り組んでいる。散歩や買い物に出かけることで運動の機会を提供したり、調理補助や洗濯物干し等、ご自分でできることに取り組んで頂いたり、生活力の向上にも努めた。カラオケやゲーム、テレビ等、余暇支援も行った。

## 9. 広報活動

### 【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、年2回発行した。

	号	発行日	部数
1	第3号	5/1	450部
2	第4号	3/21	450部

### 【地域交流】

桜塚ホームⅠ・Ⅱでは、月に1回敷地内の公園や団地周辺の定期清掃（第3日曜日の午前9～10時）を行っており、その際近隣の住民の皆さんと掃除を通して交流している。

## 10. 苦情対応

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決をする窓口として、苦情受付担当者を1名配置。苦情は、意見箱をはじめ家族会の場合でも受け付けている。また、苦情事案については第三者委員に報告し、指導助言を受けている。

\* 第三者委員会：平成25年3月14日 第2みらいにて開催

申出者	苦情内容要旨	対応
ご家族	ホームでの怪我をスタッフからではなく、他の家族から聞いた。	報・連・相の再確認を行うとともに、利用者対応についても再検討を行った。
ご家族	他利用者が無断で息子の部屋へ無断入室し壁、ラジカセを破損した。	事実確認後、ご本人、ご家族同意の上、加害利用者の部屋替えを行った。

ご家族	息子が他の利用者の部屋でずっとテレビを見て離れないようなので、自室に戻るよう言ってほしい。	午後 7 時（入浴時間）に自室に戻るようお伝えした上で、体制を整えた。
-----	---	-------------------------------------

## 11. 職員研修・会議等

### 【職員研修】

- ・事業計画に基づき、特定の職員に偏らず、また人権関連から専門的研修まで幅広い分野を対象に、研修実施に努めた。

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
6/27	感染症・食中毒 予防対策講習会	大阪社会福祉 協議会		吹田市文化会館	木村
9/6	障害者虐待防止法施行 に向けての研修会	豊中市		福祉会館	近藤
11/28	感染症・食中毒 予防対策講習会	大阪社会福祉 協議会		吹田市文化会館	平岡
11/28	障害者虐待防止研修	豊中市 GH、CH 事 業者連絡会		福祉会館	又吉 藤井 村田 伏木
2/1	近畿地区 GH、CH 職員研 修会	近畿地区知的 障害者施設協 会		兵庫県中央労働セン ター	近藤

※その他、法人内研修に年 2 回参加

### 【会議等】

会 議 名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月 1 回（センター長・主任）
センター会議	12	毎月第 1 水曜日（センター長、職員）
ホーム会議	12	毎月第 4 火曜日（センター長、サビ管）
世話人会議	4	3 ヶ月に 1 回（センター長、サビ管）

- \*その他 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）  
サービス向上委員会（主任、サビ管、他）  
家族会（毎月 1 回、各ホームにて実施）

## 相談支援事業所みらい

### 1. 利用状況（平成25年3月31日現在）

- ・計画相談支援事業（平成24年4月1日指定） 契約件数 11件
- ・障害児相談支援事業（平成24年4月1日指定） 契約件数 0件
- ・地域移行、地域定着支援事業（平成25年3月1日指定） 契約件数 0件
- ・豊中市生活アシスタント（相談事業）事業

開所日数=248日 相談ケース=719件 相談延べ人数=997名

相談者内訳：本人=399件 家族=217件 その他=381件

相談方法				
電話	訪問	同行	メール	その他
425	142	35	3	114

相談内容				
生活	就労	年金	健康	その他
533	54	22	69	160

### 2. 職員体制等

常勤職員：管理者(1) 相談支援専門員(1) 事務員(1)

### 3. 支援内容の一例

- ・障害基礎年金申立書の書き方について
- ・日中活動事業所の利用について（事業所の調整や見学同行など）。
- ・他法人のヘルパー事業所より、利用者の施設入所について。
- ・豊中市内のCH/GHの空き状況について、他市の相談支援事業所より問い合わせ。

### 4. 広報

#### 【支援センターみらい通信の発行】

支援センターの活動内容を、ご家族や関係者などに知って頂くことを目的に、年2回発行した。

	号	発行日	部数
1	第3号	5/1	450部
2	第4号	3/21	450部

○「えんコラフェスタ」企画・運営。

今年度は、『みんなで考えよう～地域と人をつなぐ～』をテーマに千里地区の民生委員を中心に広報活動を行った。

## 5. 委託事業

スポーツレクレーション事業（豊中市生活アシスタント事業）

内 容：音楽レクレーション

委託先：NPO 法人ゴールデンベル

実 績：年 12 回実施（月 1 回） 延べ参加人数…283 人

## 6. 職員研修・会議等

### 【職員研修】

・事業計画に基づき、特定の職員に偏らず、また人権関連から専門的研修まで幅広い分野を対象に、研修実施に努めた。

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
6/4	成年後見制度 豊中市の地域福祉権利 擁護について	大阪府社会福 祉協議会		大阪社会福祉指導セ ンター	内海
6/20	高次脳機能障害につい て	障害者医療リ ハビリセンタ ー		大阪市立住まい情報 センター	内海
7/5.12.26 8/2	発達障害支援者養成研 修	豊中市社会福 祉協議会		東豊中地域福祉活動 支援センター	内海
7/19 8/6.23	個別相談援助技術研修	大阪府社会福 祉協議会		大阪社会福祉指導セ ンター	内海
12/7	マッセ・市民セミナー	大阪府社会福 祉協議会	成年後見制度	大阪歴史博物館	内海
1/31 2/19.20	相談支援従事者現任研 修	大阪府障がい 者自立相談支 援センター		ドーンセンター 大阪府障がい者自立 センター	内海
3/1	地域定着支援を考える 研修会	大阪府地域生 活定着支援セ ンター	性暴力を理解 し、行為者の地 域生活を考える	大阪市立住まい情報 センター	内海

※その他、法人内研修に年 2 回参加

○計画相談支援研修会の企画・運営

計画相談支援の流れや概要を講師よりお話し頂く。豊中市障害相談支援ネットワーク「えん」の協賛にて、豊中市内の特定相談支援事業所と豊中市障害福祉課の参加が多く、計画相談支援申請における流れや申請書類について確認することができた。

【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
センター会議	12	毎月第1水曜日（センター長、職員）

\*その他 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）  
えん全体会（毎月1回）

ヘルパーステーションあしすと

1. 利用状況（平成25年3月31日現在）

① 平成24年度のヘルパー利用実績

	移動支援事業		居宅介護事業	
	件数	時間	件数	時間
4月	27	118.5	6	27
5月	31	131.5	3	13
6月	31	116.5	14	50.5
7月	36	150.5	17	56
8月	31	135.5	13	30.5
9月	41	189.5	17	63.5
10月	38	175	16	52.5
11月	56	221	19	68.5
12月	72	240.5	23	90.5
1月	71	230	19	75
2月	56	187	18	58.5
3月	83	308	27	118
計	573	2203.5	192	703.5

- ② 利用契約者数
  - 移動支援…43名（昨年度比+7名）
  - 居宅介護…10名（昨年度比+1名）
- ③ 登録ヘルパー数…29名（昨年度比+10名）

## 2. 職員研修・会議等

### 【職員研修】

- ・事業計画に基づき、人権関連から専門的研修まで幅広い分野を対象に、研修実施に努めた。

日にち	研修名	主催	テーマ等	場所/会場	参加者
9/6	障害者虐待防止法施行に向けての研修会	豊中市		福社会館	中江

※その他、法人内研修に年2回参加

### 【会議等】

会議名	回数	開催期日、構成員等
運営会議	12	毎月1回（センター長・主任）
センター会議	12	毎月第1水曜日（センター長、職員）

\*その他 所属長会議（センター長）、市内施設長会議（センター長）